



人に伝える・人とつながるをお手伝い



わくわく!

印刷仕事人

2022

営業スタッフ紹介

印刷屋はほんの一片、どうやら裏の顔があるようで…

印刷仕事人出陣!

その想ひ、私たちが伝えます

この世には、伝えたい想ひが数々ござる
紙にインクを滲ませて、想ひを伝える仕事人

印刷・出版業は、彼らの仕事のほんの一片
近頃はウェブ、動画制作、イベント企画・運営など

さまざまな領域でコミュニケーションをお手伝い
「それで今日はどのどいつに
想ひを伝えてくれとおっしゃるんじ……」



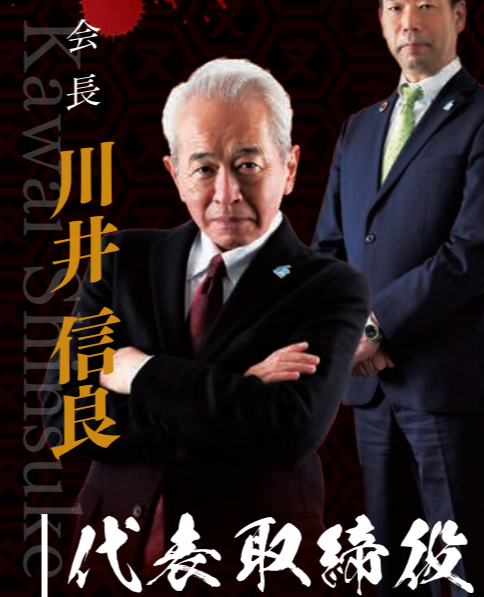
駄洒落のタケン
武藤 毅

「珈琲に砂糖? いえ、私はもちろんらトウです」

周年事業のスペシャリストとして数々の企業・団体の節目の事業を支援し、仕事人(営業部)の元締めながら、常に颯爽と仕事をこなす姿は、若手仕事人たちのお手本とするところ。その口から日常的に発せられる駄洒落は、コミュニケーションをより豊かにする潤滑油——決してオヤジギャグと侮るなかれ。

仕事人たちが切磋琢磨しながら活躍する姿を、鏡のまなどして見守る大元締めたち。

社長
川井 伸夫



会長
川井 信良

代表取締役

「いつまでも少年の心を胸に抱いて」

野球、サッカー、スキーなどの王道スポーツから、炭火いじりや古道具集めといった渋めの道楽まで、好奇心の赴くまま、何事もまずはチャレンジ! 天性の人懐っこさで誰とでも仲良くなれるのはある種の才能だが、一児の父として貫禄を身につけたいお年頃ながら、「可愛がられキャラ」を脱せない理由もそこにあり?

好奇心のリンタロウ
川井 林太郎

カレー職人のタカノリ

三浦 玄紀

「実は冷めかけのカレー愛…」

一見、ムツリ真面目な印象だが、その心は沸々と湧き立つカレー愛でいっぱい。休日は、スパイスの調合からこだわったカレーを日がな一日沸々と煮込んで食への繰り返し。そんな大好きなカレー同様、本人も知れば知るほどヤミツキになる奥深い性格……とは流石に言いすぎか。相当な凝り性であることは間違いなし。



もうひとつの顔はカメラ
カレーはニコンで、カメラはキヤノン

ジョージのおゆき

藤本 侑季

「遊びも仕事も常に120%!」

この道ウン十年で培った縁と勘を大切に、何事にも120%の力で取り組む、仕事人随一の情熱家。交友関係が広く、明るい性格でスポーツやカラオケが得意という体育会系のパワフルさながら、天然発言で場を和ませる(凍らせる?)お茶目な一面も。なお、吉祥寺界隈の飲み屋での出現率も120%に近いトカ……。

塩辛売りのヒトシ

増田 斉

「塩辛王に俺はなる!」

底抜けの明るさでどんな仕事も笑顔で成し遂げるムードメーカー。“相手の立場で考える”をモットーにさまざまな仕事に携わるあまり、ある時は大学関係者、ある時は塩辛売り……と、自分が何者か見失うことも(それだけ仕事熱心ということ!)。ギャンブル好きで破天荒な一面もあるが、困った時こそ頼りになる存在だ。

肝っ玉のおよし

飯山 美子

「第二の宗塚昌子とは私のこと」

ちょっとやさしくは動じない、仕事人(営業部)のおっかさんの存在。時にやさしく時に厳しく、ここぞというタイミングで仕事人に活を入れる。長い髪に夏は扇子がトレードマークとすれば、舞のひとも披露しうのだが、単に暑がりなのは乙女の秘密。小さなことからコツコツと……丁寧な仕事で方々から信頼を得ている。

少数精鋭で仕事人を支える
出版事業部



仕事人の活躍を陰になり日向になり支えているのが出版事業部の3人だ。依頼人の期待に応える編集・コンテンツ制作で、伝えたい想ひをカタチにするクリエイティブ集団なのだ。

“わくわく仕事”で企業や街を元気に!

② 全社員で作り上げる60周年CM!



文伸60周年を記念して全社員で取り組むCM制作の第1弾「塩辛はいかがですか?」篇。YouTubeでチェック!

① 東京諸島の魅力を伝え、事業者を支援!



コロナ禍で苦しむ事業者の販路支援のため、前年の吉祥寺に続き、東小金井で期間限定アンテナショップを企画・運営。

③ オリパラプロジェクトにも貢献!



武蔵野市内各所に掲出された横断幕等のデザイン・制作を担当。市ゆかりの選手5名が力強く並ぶデザインが好評だった。

【2021年の印刷以外の主な実績】

「イベント企画・運営等」

- ▶ 東京諸島アンテナショップ企画・運営 ①
- ▶ サテライトオフィス実証事業「TOKYO多摩ワーク」

「自費出版事業」(ことこと舎)

- ▶ 釣りファン必見! 「feat. 鱒 フィーチャリングトラウト」制作・販売

「周年事業」

- ▶ 『学校法人吉田学園すみれ幼稚園創立70周年記念誌』制作
- ▶ ハッコーエレクトロニクス50周年記念タンブラー制作
- ▶ “BUN-SHINの術”、解禁!? PR動画「周年事業のスヌメ」始動

「動画制作」 ※自社PR動画も含む

- ▶ 武蔵野大学のオンライン講座、オープンキャンパス、学部紹介
- ▶ ドローンによるオンライン工場見学(BUN-SHIN FACTORY)
- ▶ 文伸60周年CM「塩辛はいかがですか?」篇 ②

「地域のお仕事・その他」

- ▶ 東京2020オリパラ・武蔵野市ゆかりの選手応援プロジェクトデザイン・制作一式 ③
- ▶ 三鷹商工会主催「三鷹親子まちゼミ」(印刷工場見学&オリジナルノートづくり!)

いまから60年前に「街の印刷屋」としてスタートした文伸は、「街に愛され必要とされる会社でありたい」という創業の精神はそのままに、時代にあわせて進化し続けている。印刷・加工のみならず、企画提案から取材・撮影、編集・デザイン、発送までワンストップで手掛ける「総合的なコミュニケーションサポート業」を展開し、昨今は動画やウェブ制作、イベントの企画・運営など、事業領域をさらに広げているのだ。

特に、自社の強みをいかに発揮できる「出版事業」、スキルや経験を集大成した「周年事業」は、これからの文伸の中核になるであろう。もちろん祖業の印刷分野も抜かりはない。

※ GPMマーク普及準大賞を5年連続受賞し、「SDGsで地域ナンバーワン」の環境配慮の会社を目指す」との想いを体現し続けている。

こうしたすべての事業領域に精通し、お客さまのニーズに合わせた提案をするのが「印刷仕事人」の日々の活動だ。昨年は社長交代もあり、若い世代の活躍にも一層期待が高まる。

“わくわく仕事”を合言葉に、仕事人たちは、今日も誰かの想いを伝えるため、四方八方駆け巡る――。

※GPM(グリーンプリンティング)とは、一般社団法人日本印刷産業連合会が推進する、環境に配慮した印刷の総合的な認定制度。全国2万社あるといわれる印刷関連業の中でも、GPMの認定を受けている工場は425社(2021年9月現在)。

印刷仕事人 瓦版

“印刷仕事人”が所属する株式会社文伸は、印刷を主体としたコミュニケーション・ファーム。その多岐に渡る「お仕事」の最新情報を紹介!

株式会社文伸 / ぶんしん出版 / ことこと舎

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17 三鷹ビジネスパーク

☎ 0422-60-2211 ✉ office@bun-shin.co.jp

「人に伝える・人とつながる」をお手伝い

BUN-SHIN 60

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<https://www.bun-shin.co.jp/>

Facebook



twitter



YouTube



わくわく60
チャレンジ
実施中!

この印刷製品は、環境に配慮した原料と工場設備を駆使して製造されています。
GREEN PRINTING JAPAN
P-0100110